



医療のための『だるまん陰陽五行講座』(ワンデイ×3日)

このたび、要望の高かった医療従事者や代替医療関係者、仕事の上で医療的な発想を持つ方々ための『だるまんの陰陽五行』アドバンス講座を、大阪でも行うことになりました。

主に歯科医療の話が中心になるのですが、医療全般における陰陽五行の考え方を提供させていただきたいと思います。「医療のための」と銘打っておりますが、広く医療行為全般、癒やしに関わる方々のための講座と理解していただければと思います。『だるまんの陰陽五行』シリーズ(三冬社)を軸に、陰陽五行の世界をさまざまに旅しつつ、人間とは何か、いかに健康的に生きるべきかを探る連続講演会です。

日時 2016年4月から6月までの第2日曜の午前10:30～午後16:30(会場10:00)

会場 新大阪丸ビル別館 大阪市東淀川区東中島1-18-22 <http://marubiru-bekkan.com/access.php>

費用(事前振込み) 三日間一括 40,000円(税込み)

お申込み 以下まで電話かメールでお申し込みください。その際、振込先をお伝えします。

電話…堀内歯科クリニック(045-664-3864)(受付時間:午前10:00～午後6:00まで…日月祝ならびに木曜午後を除く)

メール…horichishika@docomo.ne.jp(堀内信隆)

【第一日】 2016年4月10日(日) 新大阪丸ビル別館 部屋 No.2-1B

「陰陽」 午前10:30～13:00(会場10:00)

私たちをとりまくすべてを陰陽という二極でとらえることは、人体の発生が受精卵から幕を開き、まずは二分割していくことに一致します。その後偶数倍に展開する世界観を「偶」の世界観と称します。この偶の世界観が「陰陽」と表現できるのです。そして自然界も、人体という自然の産物も、陽気と陰気というふたつのものがひとつの秩序をもって展開していきます。こうした陰陽の世界観をまず理解しましょう。

「五行」 午後14:00～16:30

偶の極である2を5に分布させて森羅万象に当てはめるのが陰陽五行です。まずは人体内での五臓五腑に「木」「火」「土」「金」「水」の何が当てはまるのか、その意味を理解しましょう。その意味がわかってくると単に五臓五腑への配当(象徴)のみならず、他の臓器や組織への五行配当も理解できるようになります。ここでは徹底して5つの要素の捉え方を学びます。

【第二日】 2016年5月8日(日) 新大阪丸ビル別館 部屋 No.2-1B

「相生と相剋」 午前10:30～13:00(会場10:00)

五行を学ぶとき、十文字で示す五行と星形の五行とがあります。ここに5つの要素のそれぞれの関係性が生じてきます。関係性を説明するのに、東洋医学を主とした医療関係では星形五行を使いますが、そこには相生関係と相剋関係というふたつの指標が存在します。人体での対応を元にしてその意味合いを理解すると、重要なのは相剋関係であって、それは単なる関係性ではなくルートという道順で理解されることがわかります。

「肉体と精神」 午後14:00～16:30

五行の重要な点は肉体だけでの関係性を意味することではありません。「五志」という配当関係では怒りや喜び、恐怖や哀しみといったわたしたちの感情までを範疇にし、五行のルートに沿った肉体面での健康と精神面での健康を測ることができま。唯物科学にこだわらず、「気」、「エーテル体、アストラル体」などの諸体も含めて肉体と精神という究極の陰陽が五行でどう説明されるのかを見ていきたいと思います。

【第三日】 2016年6月12日(日) 新大阪丸ビル別館 部屋 No.5-7(第一回、第二回と別の部屋となります)

「かみ合わせ治療と陰陽五行」 午前10:30～13:00(会場10:00)

中心咬合位という「咬むための」位置と中心位という「顎関節」の位置を五行に照らしあわせて理解します。そうすると第二回の相剋ルートで示した「土」から「水」という流れが中心咬合位から中心位への移動と一致することが理解され、本当に治療するとはどういうことかを五行のモノサシを通じて理解することができます。同時にこの治療を通して精神面での変化、人間的成長を伴うという驚くべき事実にも触れることになります。

「スプリント治療の実際」 午後14:00～16:30

午前でお話した治療法の実際を説明いたします。スプリントという装置の制作方法についてお話します。これは通常出回っている馬蹄形のものではありません。そして、それを応用してどのように臨床上で扱っていくのかについて説明します。また、簡易脈診、腹診についてもお話し、これも治療の効果を理解するための一助になることを説明いたします。